

世界最高峰のプロジェクションマッピングと光の体験

「TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE」

優勝者エキシビションに出場するクリエイター10組の作品を公開！

～「絆の象徴」や「忘れられがちな生きる喜び」といったテーマを題材にした作品も登場～

開催日：2023年11月10日(金)～12日(日)

場所：明治神宮外苑 聖徳記念絵画館、及び明治神宮外苑 総合球技場軟式球場

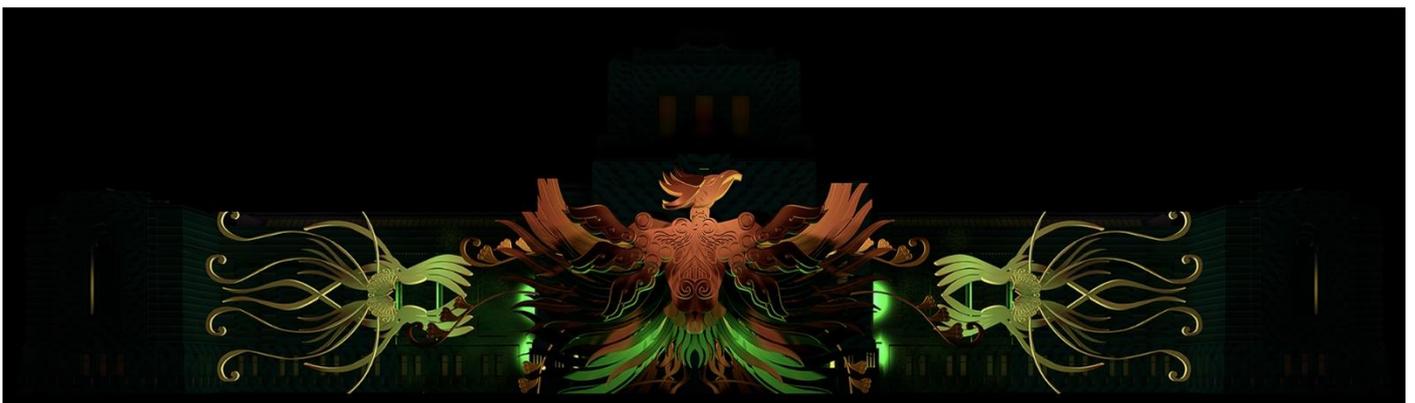
「TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE(トウキョウ ライツ ノーベンバーブルー)」を2023年11月10日(金)～11月12日(日)に明治神宮外苑 聖徳記念絵画館、及び明治神宮外苑 総合球技場軟式球場にて開催いたします。



その中で、メインコンテンツとなる優勝者エキシビションに出場するクリエイター10組の作品情報が公開となりました。この10組はこれまでに実施されたプロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」(以下、国際大会)で見事グランプリに輝いたトップクリエイターになります。中には、「絆の象徴」や「忘れられがちな生きる喜び」といったテーマを題材にした作品も登場します。

映像だけでなく、レーザーやムービングライトも加えたハイブリッドな表現に挑んでもらう、まさに世界最高峰のプロジェクションマッピングと呼ぶに相応しいショーです。この大会と共にプロジェクションマッピングの歴史を作ってきたクリエイター達と、その素晴らしい作品群をぜひ体験してください。

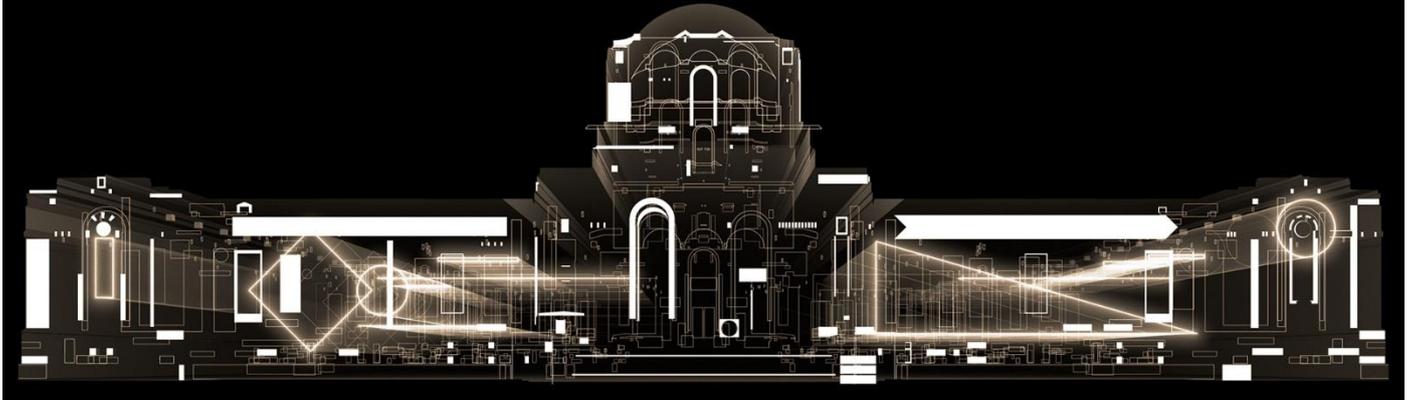
■優勝者エキシビション クリエイター作品のご紹介 ※クリエイター名(読み)/作品タイトル/国・地域
・ Sembilan Matahari(スンビラン マタハリ)/JapanMenyala/インドネシア



<作品コンセプト>

インドネシアの誇りであるガルーダの物語を紡ぐこと核にした作品。ガルーダは、神話上の鳥でインドネシアの人々に大切に思われてきた存在である。このバハサ語で Menyala と呼ばれる光の表現は、11年間の友情の架け橋となり、結束を育む、感動的な再会を意味している。

・ FLIGHTGRAF (フライトグラフ) / Connected / 日本



<作品コンセプト>

「LINK」というテーマから我々がイメージしたのは生死を観察するライフゲームです。昨今、世界の状況を俯瞰で見ると、まるで誰かから操作されているように感じる時があります。どこかに繋がっているのか、あるいはすでに繋がっていたのか、この作品を通して観客にその疑問を問いかけます。

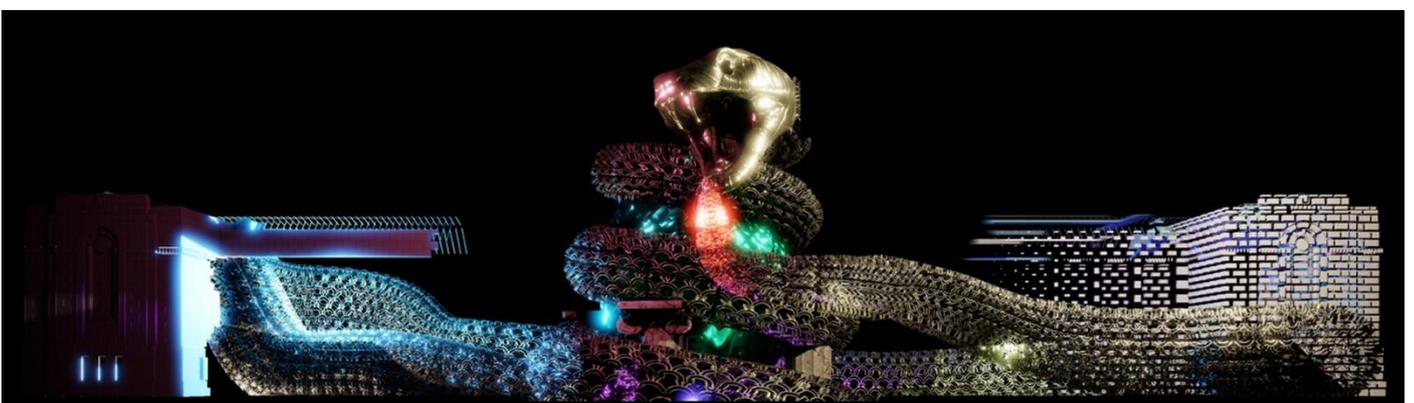
・ Maxim Guislain (マキシム ギスラン) / Butterfly effect / ベルギー



<作品コンセプト>

すべてはつながっている。単純な蝶の羽ばたきでさえ、大きな結果をもたらすことがある。このプロジェクトでは、この蝶が建物にどのような影響を与え、建物のファサードを進化させる連鎖反応を引き起こし、私たちを時代を超え、さまざまな環境へと誘うかを探求する。

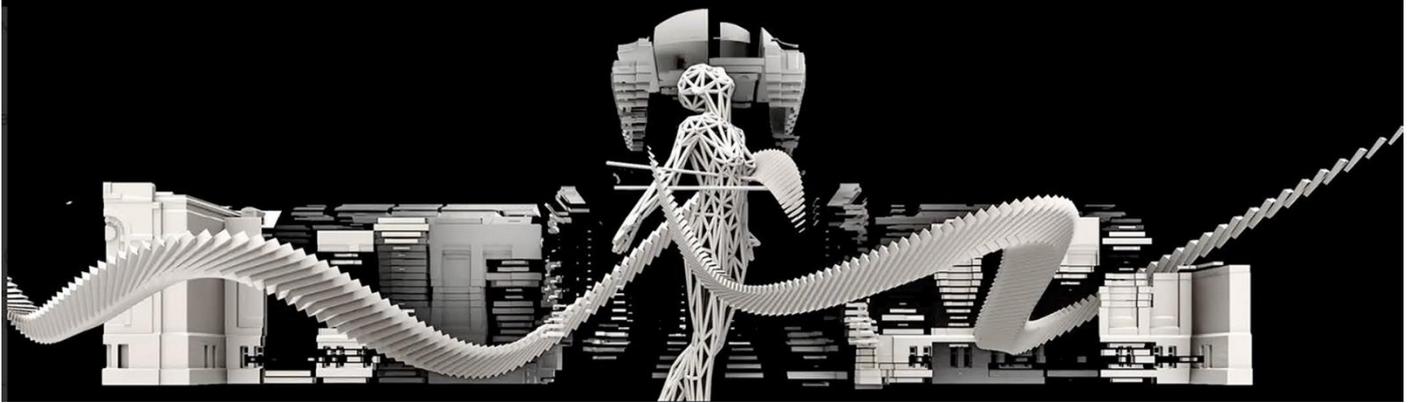
・ Neba Studio (ネバ スタジオ) / OUROBOROS / マカオ



<作品コンセプト>

古代神話の象徴的存在でもある「ウロボロス」がモチーフ。尾を食べる蛇は、始まりも終わりもないリンクを表し、永遠の循環、再生や無限、終わりなき繋がりなどを意味しています。世界や自然、生と死などとリンクし、人間はいかに世界と繋がるべきかを問いかけます。

・ EuroVideoMapping (ユーロビデオマッピング) / Vinculum / ドイツ・ウクライナ



<作品コンセプト>

はるか昔、宇宙からやってきた生命が地球に誕生した。共通のルーツを持つ生命は 進化してきたが、私たちを取り巻く新しい生命体は、多くの共通点を持ち、目に見えないネットワークで結ばれている。このリンクを通して、私たちはコミュニケーションをとり、情報や生命のエネルギーを交換している。

・ Antaless Visual Design (アンタレス ビジュアルデザイン) / EVOLVING SPACE / イタリア



<作品コンセプト>

ポストモダン建築の一派である解構主義建築をテーマに、物や材料、構造を変形させ、解構主義建築で行われた分解の過程を外観に反映することで、自分の建築的な限界に対抗する空間を表現。脱構築は、単なる技術でも、邪魔な構造でもない。

・Li Cheng(リー チェン)／Magic Space／中国



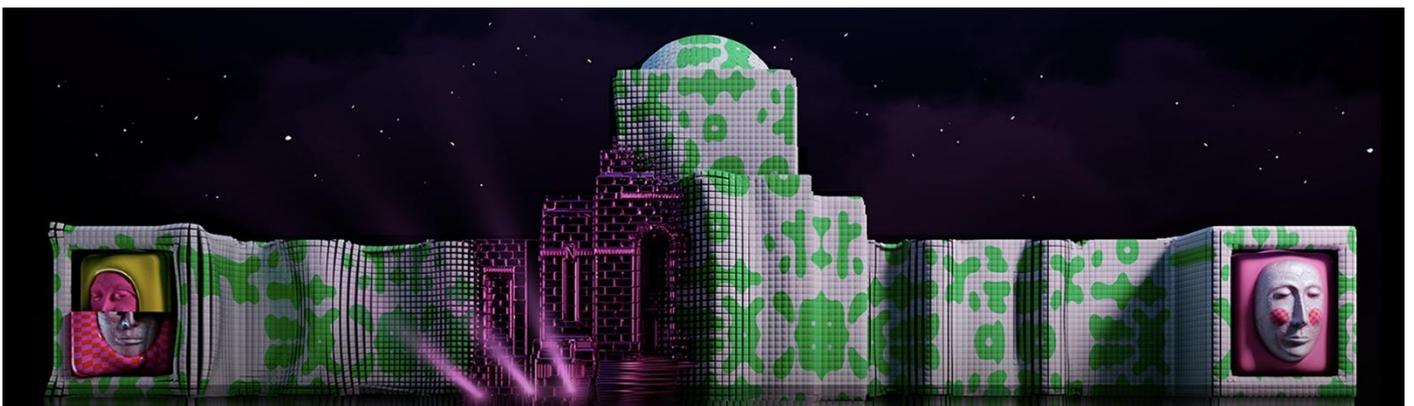
<作品コンセプト>

我々の身の回りに咲く花々を題材にした作品。

花や植物は大地や空気中からさまざまなエネルギーを受け取り、育ち、咲き、種を残す。

花々の美しさの裏には、その環境のあらゆるものとの繋がりがある。そうした目に見えないエネルギーが、魔法のように花々を咲かせ、我々の目を楽しませ、力や希望を与えてくれる。

・Julia Shamsheieva(ジュリア シャムシェイエヴァ)／WINDOW TO U／ウクライナ



<作品コンセプト>

この作品は世界の変容に捧げるシリーズの一つで、日本のウクライナへの支援は、距離や文化の違いといったものを超えた絆の象徴です。この作品をウクライナの人々を助けるために東京からハルキウに移住した土子文則氏と大きな悲劇に関心でいらなかったすべての人々に捧げます。優しさに国境はなく、みんなが力を合わせれば、世界は変えられる。

・THE FOX, THE FOLKS(ザ・フォックス、ザ・フォルクス)／HAPPY? HAPPY!／インドネシア



<作品コンセプト>

ハッピー？ハッピー！では、忘れられがちな生きる喜びを表現しています。幸せは予想外の出来事や人との関わりから生まれます。怒っていたトラが自分を見つめ直し、パレードやパーティーに参加して、周りの人にも幸せを伝染させます。予測不可能なことが起きてもそれは新たな楽しみに繋がるかもしれません！

・ EPER DIGITAL (エパー デジタル) /Fragments /ハンガリー



<作品コンセプト>

人間と機械、デジタルと物質を結びつけるのは何か？を探求し続けていく。音楽を通して、相反するもの達が調和し、どのようにその空間・物体に作用していくか？

■光の祭典では日本の伝統色「紅色」と「藍色」で東京を表現します

今年の光の祭典は日本の伝統色、中でも“代表色”とされている「紅」と「藍」で表現します。

◆TOKYO LIGHTS 2023 Sep. RED

2023年9月に開催された、「TOKYO LIGHTS 2023 Sep. RED(トウキョウ ライツ セプテンバーレッド)」では、【紅色】を基調とし、「祝祭」や「秋の紅葉」を連想させるカラーリングで華やかにイベントを彩りました。

◆TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE

11月は【藍色】を基調とした「TOKYO BLUE」で「江戸の粋」や「ジャパングルーン」を表現します。“勝ち色”とも称される藍色は、過去の国際大会のグランプリ受賞者が集結する優勝者エキシビションを象徴する色として、大会の盛り上がりをより一層後押しします。

■TOKYO LIGHTS とは

2021年より始まった『TOKYO LIGHTS』は、東京の新しい風物詩として未来へのメッセージを発信する光のイベントです。TOKYO LIGHTSの『LIGHTS』には、未来の可能性を示す「ビジョン」、表現技術を示す「先進性」、これからを担う「人材」、それらを育み集まる「コミュニティ」など様々な意味が込められています。こうした「光」を集め、その化学反応によって輝く希望のメッセージを東京から世界へ届けていきます。

■1minute Projection Mapping Competition 優勝者エキシビション

「1minute Projection Mapping Competition」は、世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会として、この9月開催で11人目の優勝者を世に送り出しました。本大会で優勝したクリエイターたちは、その後他の国際大会で優勝したりさまざまな祭典へ招聘されるなど、トップクリエイターとしていま世界中で活躍しています。そんな優勝者10組が新たなプロジェクションマッピング作品を制作し、それを一堂に集めた特別なエキシビションを開催。このショーでは、映像だけでなく、レーザーやムービングライトも加えたハイブリッドな表現に挑

んでもらう、まさに世界最高峰のプロジェクションマッピングと呼ぶに相応しいショーです。この大会と共にプロジェクションマッピングの歴史を作ってきたクリエイター達と、その素晴らしい作品群をぜひ体験してください。

■非日常感のある、光の世界を旅する「光の祭典エリア」

明治神宮外苑 総合球技場軟式球場では、光のアートや音楽を融合させた、先進的なエンターテインメントが配置され、多種多彩な体験ができる光の世界が広がります。

「光の振付師」として国際的イベントの開会式などに LED 演出を手掛けた MPLUSPLUS の藤本実氏をはじめ、THINK AND SENSE の松山周平氏、diplo、PRISM、SC アライアンス、そして、Ray Kunimoto がテーマ曲を手がけるなど、トップクリエイターたちが力を合わせ、光の祭典を創り上げます。演出コンセプトを「LINK TOKYO」として、エリア全体を IMAGICA EEX の早川正祐氏がプロデュース。デジタルサウンドアート、リアルパフォーマンスを組み合わせた没入型のライブエンターテインメント空間など、東京の魅力をさまざまな光としてつないだ非日常空間で、フードやドリンクと一緒に楽しみください。

【IMMERSIVE GATE】

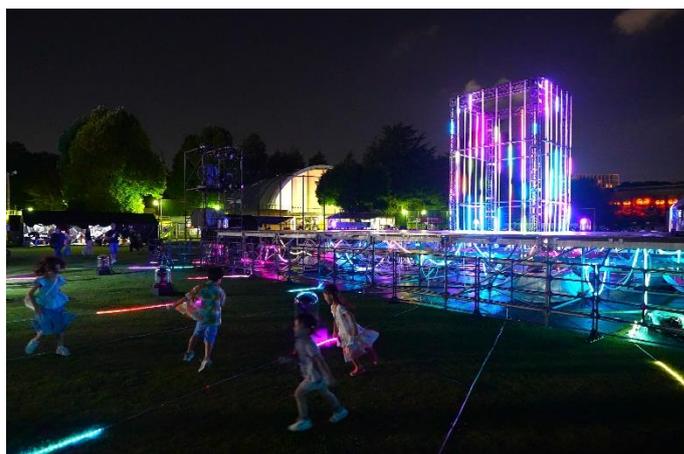
超巨大 LED ウォールが入口に設置され、来場者をお出迎えします。



◦MPLUSPLUS

【LINK TOWER】

東京の高層ビル群と地下鉄路線からインスピレーションを得た光のステージ。



◦MPLUSPLUS

【M++DANCERS】

独自開発の LED コスチュームをまとったダンサーが最先端パフォーマンスを披露します。



◦MPLUSPLUS

【PLAY GROUND】

インタラクティブプログラムを駆使した、子どもたちのための、夜の遊び場。



【IMMERSIVE WALL】

THINK AND SENCE が東京の夜に公園を創出。
人々が思い思いの時間を過ごすことができます。



©THINK & SENCE

【飲食エリア】

日本最大級の若手料理人コンペティション
RED U-35 とタイアップ。



■「TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE」開催概要

名称：TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE

会場：明治神宮外苑 聖徳記念絵画館（新宿区霞ヶ丘町1-1）

及び明治神宮外苑 総合球技場軟式球場

開催日時：

【優勝者エキシビション】

2023年11月10日(金)～11月12日(日)

(3部制：第1回 17:30-18:10 第2回 18:50-19:30 第3回 20:10-20:50)

【光の祭典エリア】

2023年11月10日(金)～11月12日(日) 17:00～21:00

■チケットの種類

TOKYO LIGHTS 2023 Nov. BLUE へのご入場、各演目のご観覧には、事前予約にて以下のいずれかのチケットが必要になります。また、チケットにつきましては定員になり次第、販売終了となりますので予めご了承ください。

【A】 プロジェクションマッピング観覧エリア+光の祭典エリア

光の祭典エリアへのご入場及び聖徳記念絵画館前にて開催される「優勝者エキシビション」を観覧エリアで鑑賞される方は、こちらのチケットが必要になります。

【B】 光の祭典エリア

光の祭典エリアへご入場できます。プロジェクションマッピング観覧エリアには入場できません。

※いずれも QR コード付きのオンラインチケットです。入場時にスマートフォン等でのご提示が必要です。

チケットは2023年10月6日(金)より受付けております。

お申し込みは、下記の URL よりお願いいたします。

<https://tokyolights2023ticket-nov.peatix.com/>

<構成団体 / 関連サイト、SNS>

主催：TOKYO LIGHTS 2023 実行委員会

共催：東京都

後援：新宿区

企画協力：一般財団法人プロジェクトマッピング協会

制作／運営：株式会社博報堂プロダクツ

公式サイト：<https://tokyolights.jp>

SNS：Twitter／Instagram／Facebook／YouTube

公式ハッシュタグ：#tokyolights #1minutePM #tokyolights2023

<イベント内容 チケットに関するお問い合わせ>

TOKYO LIGHTS 2023 事務局 TEL：03-3585-1022

電話対応日時：10月6日10時～11月12日 土日祝日を除く平日 10時～17時